

みやぎ街道交流会令和3年度定期総会を7月3日(土)14時から「青葉区中央市民センター」で開催しました。

開会のあいさつ / 会長 白鳥 良一

皆さん、お久しぶりでございます。本日はみやぎ街道交流会総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。昨年度は新型コロナの拡大で、皆さんとお会いする機会が本当に少ない一年でした。



昨年の総会時点では、秋になればコロナも収束し、みやぎ街道交流会の事業も計画どおりに実施できるのではないかと見通していましたが、コロナのまん延が波状攻撃の様に押し寄せ、街道事業も交流事業も、多くが中止や延期を余儀なくされてしまいました。

そんな中でも、とうほく街道会議との協働による「奥州街道・富谷宿大会」をはじめとする他団体との共催事業や、街道マップ作成の調査、イベント情報の収集・発信など、コロナに邪魔されない事業などは実施できました。このことは会活動の継続という点で大変意義のある事だと思っております。

仙台市では6月13日に「緊急事態宣言」は解除されましたが、「リバウンド防止徹底期間」として、新たな変異株が拡大しつつあることなどから7月11日まで延長されました。飲食店の営業は午後9時まで、酒類の提供は午後8時までとされ、市民には飲酒を伴う懇親会等の回避が要請されています。

従いまして、幸い今年度も総会と報告会は開催できたものの、楽しみにしていた方が多いであろう街道談義は、残念ながら自粛せざるを得ないとの判断に至りました。

こうしたなか、明るい兆しも見えてきました。5月後半から一般のワクチン接種が始まり、現在も急ピッチで進んでいます。皆さんは如何でしょうか？

オリンピックの影響がどう出るのか予断を許さないわけですが、このままいけば秋口にはかなり収束に向かっている可能性もあります。そうなることを期待して、総会では今年度の事業計画・収支計画について活発な審議をよろしくお願い致します。

どの街道にも長い歴史と広がりの中なかでさまざまな栄枯盛衰が見られ、それが魅力でもあります。私たちも今は無理をせず、長い道のりに少しずつでも楽しみながら歩みを進めて行きたいと思っております。

みやぎ街道交流会

題字揮毫：高倉 淳初代会長

【今回の目次】

- 令和3年度総会開催報告
開会のあいさつ 会長 白鳥良一 P1
総会議事要旨 P2
- 総会記念報告会
「栗原市入ノ沢遺跡と築館パイプ」
～遺跡保存と道路事業の現在～ P3

○報告

「栗原市・奥州街道の“いま”」 P4
~~~~~

【編集後記】

- 今年度最初のみやぎ街道交流会ニュース第41号をお届け致します。
- 一昨年末からのコロナ禍のため、不透明なところがありますが、秋には活動出来る様に準備を進めたいと思います。(やま)

みやぎ街道交流会  
ニュース  
第41号

2021.8.31 発行

## 令和3年度定期総会

- 開催会場  
令和3年7月3日(土) 14~15時  
青葉区中央市民センター 第2会議室
- 参加者数  
定期総会 参加者：20名
- 次第  
1. 開会  
2. 会長あいさつ  
3. 議長指名  
4. 議事  
    1) 議案第1号  
    ↳ 令和2年度事業報告(案)  
    2) 議案第2号  
    ↳ 令和2年度決算報告(案)  
    3) 議案第3号  
    ↳ 令和3年度事業計画(案)  
    4) 議案第4号  
    ↳ 令和3年度収支計画(案)  
    5) 議案第5号  
    ↳ 役員改選  
5. 閉会

## 《 総 会 議 事 要 旨 》

横山修司事務局代理の司会により開会され、冒頭に白鳥良一会長より挨拶がありました。(内容は1頁参照)  
議長に高橋幸三郎副会長が指名され、議長挨拶後、次のとおり議事が進行されました。

### ○議案第1号 令和2年度事業報告(案) 及び議案第2号 令和2年度決算報告(案) を一括審議

事業報告を森田均事務局長代理から報告がありました。続いて、日下さおり会計から決算、監査結果は大利泰宏監査から報告がありました。

また、個別事業の補足説明が山屋事務局長よりありました。

⇒審議の結果、異議はなく、承認されました。

なお、決算書の書式間違いの指摘があり、会計から訂正がありました。

### ○議案第3号 令和3年度事業計画(案) 及び議案第4号 令和3年度収支計画(案) を一括審議

事業計画(案)は山口智浩事務局次長、収支計画(案)は日下さおり会計から説明がありました。

また、「奥州街道・富谷宿大会 Part2」と「ホームページの移転」について、山屋事務局長より補足説明がありました。

その主な内容は、次のとおりです。

➤交流会として、「奥州街道・富谷宿大会 Part2」をとうほく街道会議と協働で開催したい。

昨年開催を受けた富谷宿と交流ステーション“とみやど”の更なる発展のため、「宿場めぐりのポイントとコースのお宝探検隊」と「ガイドシステム構築に向けた取組みへ」のワークショップを検討している。

⇒審議の結果、異議がなく、原案のとおり決定されました。

なお、「奥州街道・富谷宿大会 Part2」は、2日にわたらず、1日での開催を検討してほしい旨の意見がありました。

### ○議案第5号 役員改選

山屋事務局長より改選案検討は、「新型コロナウイルス感染症のための打合せ・会議の開催が困難であったことから、全員の1年留任をお願いしたい」と提案がありました。

⇒審議の結果、提案のとおり承認されました。

以上、議案の審議が終了し、定期総会が閉会されました。

### 会費の納入に関して

○既に会費納入いただきました会員の皆様には、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

○なお、当年度の会費は引き続き随時受け付けておりますので、納入がお済みでない方は、下記口座までお振込いただくか、事前に連絡の上、みやぎ街道交流会事務局までお持ちください。

#### 【会費のお振込み先】

仙台銀行 上杉支店 普通口座 2523091  
名義:みやぎ街道交流会 会計 馬場恭子

### 会員登録内容に関して

○会員種別等登録内容の変更がある方は「会員種別異動届書」を事務局までご提出ください。

○会員種別異動届書が必要な方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

※あなたの会員登録内容は、総会資料集巻末資料の「会員名簿」を参照ください。

【事務局】 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 13-17  
TEL 080-3322-1966 FAX 022-262-0379  
Mail miyagi.kaidou@gmail.com

# 「栗原市入の沢遺跡と築館バイパス」 ～遺跡保存と道路事業の現在～

- ◆入の沢遺跡は、栗原市築館字城生野入の沢・峯岸に所在し、国道4号築館バイパス工事に先立ち平成26年度に行われたものです。
- ◆調査の結果、H29年10月に道路予定地の範囲が国史跡に指定され、その後の調査成果に基づきR2年3月に周辺部一帯が追加で指定されています。
- ◆今回、その遺跡の概要等を白鳥会長から説明いただきました。



## <発掘調査の成果>

- 丘陵地形を利用した古墳時代前期(4世紀)の大規模集落跡である。
- 集落は、材木堀と大溝(とその外側の土塁)で囲まれて、区画内に約40棟の竪穴建物跡が計画的に配置されていた。調査した12棟のうち5棟が火災で焼失したまま廃絶している。
- 燃えた屋根の下から多くの土器と共に、銅鏡4面、斧や剣などの鉄製品、勾玉・管玉などの玉類他が多量に残されていた。銅鏡は、高い身分の人の古墳副葬品が普通で、国内最北の出土である。



珠文鏡(径 5.5cm) 櫛齒文鏡(径 5.5cm)

装身具 鉄製品

竪穴建物跡 1: 炭化材と遺物が出土  
(南北 6.2m 東西 7.0m、壁高 84cm)

## <調査成果の意義>

- 入の沢遺跡の集落は、険しい地形を利用し周囲に材木堀・大溝などを環状に巡らした極めて特殊な防御集落で、背景にはこの地域が南の古墳文化と異なる北の続縄文文化との境界領域だったことが深く関わっていた可能性がある。
- 建物土器類のほか集落遺跡からあまり出ない銅鏡、鉄製品、玉類など古墳の副葬品に共通する支配者の権威を示す遺物が豊富に出土し、大和政権との強い関係性がみて取れる。
- 多くの建物が火災で焼失し集落自体が廃絶していることから、この火災が続縄文文化側との軋轢による可能性がある。
- 当遺跡は日本の国家形成期の地域首長層の動向や続縄文文化との関わりを解明する上で学術的価値は極めて高い。

## <参考> 国史跡「伊治城跡」:入の沢遺跡の北側に隣接

- 伊治城は神護景雲元(767)年に律令政府により蝦夷支配の最前線拠点として設置され、9世紀まで存続した城柵。
- 東北地方における古代律令体制の成立や官衙の構造を具体的に知る上で極めて重要であることから、平成15(2003)年に国の史跡に指定され、現在も調査が続けられている。

## <現状と今後の主な課題>

- 現在<史跡入の沢遺跡保存活用計画>を作成中(委員長:白鳥良一)。
- 主な課題として、①築館バイパス計画との最終的な調整 ②発掘調査の継続による新たな情報の発信 ③史跡伊治城跡と一体化した整備活用計画に策定 ④大仏古墳の解明 があるとのこと。

## <聴講して>

- 築館バイパス終点部は、伊治城跡と今回の入の沢遺跡の保存のため2回の計画変更となったが、その先では伊治城政庁を縦貫しているため、中・長期的にはこれも避けた計画を望むものです。
- 古墳時代前期(4世紀)の入の沢遺跡と767年の伊治城とは約400年離れるが、何か関連を感じます。(やま)

- ◆ 7月30日に栗原市の奥州街道(有壁本陣から築館IC)までの状況を調査してきたので、徒歩調査区間(下図①: 十万坂前後及び②区間: 夜盗坂～東北道)の現状を報告します。
- ◆ 調査は、今秋に「くりはら街道会議」が予定している街道探訪会コース検討のため実施したものです。
- ◆ 栗原市の奥州街道は、H21年12月に夜盗坂から新鹿野までの刈払いを関係団体と協働で実施しましたが、その後、この区間を含めた栗原市の奥州街道は行政や地区住民により継続されています。



区間①: 十万坂前後(約 640m)

|           |        |      |        |
|-----------|--------|------|--------|
|           |        |      |        |
| 北側からの牧草地脇 | 牧草地を過ぎ | 峠の石碑 | 十万坂を下る |

◆ 入口の牧草地は、以前はきれいな牧草地でしたが、酪農を止めたのか今は雑草が多く生え荒れていました。  
 ◆ 峠の石碑の1面には、「天保15年4月吉日 奉為 天下泰平 国土安全 國主武運長久」と刻まれています。

区間②: 東北道(E4)～夜盗坂(約 750m)

|              |          |               |        |
|--------------|----------|---------------|--------|
|              |          |               |        |
| 高速道路の側道からの入口 | 緩い坂を登り切る | H21年刈払い前は竹が密生 | 夜盗坂の手前 |

◆ 高速側道の入口から数十 m は採石が敷かれ、ソーラー設置の工事用道路となっていました、その先は街道の旧観を良く残しています。(旧金成町と旧若柳町の町境が街道となっている)  
 ◆ 最後の夜盗坂手前の窪地は、前日の豪雨のため特にぬかるんでいました。いつもは西側に並行する牧草地を通るのですが、ソーラー基地の敷地になりフェンスが設置され立入禁止でした。(天候によっては難所です)

番外編: 熊口五輪塔 (栗原市金成有壁熊口)



(長径 13m 短径 11m)

藤原泰衡家臣の照井太郎高直は奥州合戦で討死し、その妻子がこの地に隠れ住む。高直の妻が夫の菩提を弔うため、積石塚に五輪塔を建てた(左写真)のが始まりで、計 5 基の五輪塔がある。